

ごあいさつ

平素は公明党にご支援、ご協力賜りまして厚く御礼申し上げます。

皆様からの温かいご支援により市政に送っていただいて4年。赤ちゃんからお年寄りまで、生き生きと暮らせる東大阪を目指し、常に生活者の目線を忘れず、議会活動、議員活動を続けてまいりました。この間、2000件を超える市民相談をお受けし対応させていただく中で、皆様の生の声を市政に届け、数多くの実績を残すことができました。心より感謝申し上げます。

今、地域経済の活性化とともに、子育て、高齢者、障害者などの方への支援施策の拡充、教育とスポーツ・文化の振興、更には防災・防犯対策など安全・安心な街づくりが急がれます。

東大阪市の議員として吉田しょうこは、これからもネットワーク政党公明党の強みを活かし、皆様の声を“カタチ”に「ひとが輝く。躍動する東大阪!」の実現を目指し、全力で働いてまいります。今後とも、更なるご支援、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

プロフィール

- 昭和31年6月5日 大阪市生まれ
- 昭和50年3月 大阪市立住吉商業高等学校卒業
昭和54年3月 追手門学院大学文学部卒業
平成23年10月 市議会議員初当選
- 歴任：民生保健委員、文教委員、
建設水道委員会副委員長
- 家族：夫、二男、一女 5人家族
- 手作り絵本講師
- 趣味：手作り絵本・カード作り
- 好きな食べ物：果物、お好み焼き
- モットー：「夢を持って希望に生きる」

吉田しょうこ
ホームページ



<http://www.komei.or.jp/km/higashiosaka-yoshida-syoko/>



私たちも「吉田しょうこさん」を応援します

公明党代表

山口 那津男

公明党女性局長 参議院議員

山本 かなえ

公明党青年委員長 参議院議員

石川 ひろたか

手作り絵本の会 代表

松長 郁子

co.,ltd.eでんき 代表取締役

向 明広

東大阪市長

野田 義和

(順不同・敬称略)

吉田しょうこ後援会規約(抜粋)

第1条(名称、所在地)本会は、吉田しょうこ後援会と称し、事務所を東大阪に置く。

第2条(目的)本会は、吉田しょうこの政治活動を支援することを目的とする。

あわせて会員相互の親睦をはかる。

第4条(会員)本会の目的に賛同する者を持って会員とする。

第8条(会計)本会の運営は寄付金、その他の収入をもって充てる。会費は徴収しない。

※買収・供応などの悪質な違反は連座の対象になります。
私、吉田しょうこは徹底して清廉な政治を目指します。

吉田しょうこ後援会事務所

〒577-0824 東大阪市大蓮東4-8-15

TEL・FAX:06-6781-4038

×キリトリ

「吉田しょうこ後援会」入会申込書

貴会の趣旨に賛同し、後援会に加入します。

ふりがな お名前	お電話	()
ご住所	□□□-□□□□	
紹介者名	紹介者連絡先	()

—KOMEITO—
公明党
〈後援会討議資料〉

一生懸命・実行の人
抜群の行動力!



東大阪市議会議員

よし だ
吉田
しょうこ
聖子

ひとが輝く。躍動する東大阪の実現に全力!!

吉田しょうこチャレンジビジョン

魅力と活力ある東大阪市を目指して!!

- ラグビーW杯2019や新市民会館建設で賑わいと地域活性化の実現
- 魅力を効果的に市内外に発信。新たな観光部局の創設
- モノづくり立地促進補助事業制度など中小企業支援と商店街の活性化の事業の推進
- あらゆる分野での女性の活躍支援

暮らしやすく働きやすい東大阪市を目指して!!

- 国民健康保険料の今後3年間の引き下げ実現
- 地域包括ケアシステムの構築で高齢者支援の拡充
- 若者と中小企業との就職マッチング支援の実現
- ハローワークとの連携による就職支援ワンストップ相談窓口の設置
- マイナンバー制度の導入に伴いコンビニでの証明書発行

子育てしやすい東大阪を目指して!!

- 待機児童の解消と中学校給食の実現
- 妊婦健診費用の助成額を拡充
- 産前産後ケアとして訪問支援活動で家事、育児を応援

安全で安心な東大阪を目指して!!

- 救急医療の連携強化と地域医療の中核病院としての整備拡充
- 防犯カメラやLED防犯灯の増設を推進
- 国施策を活かした空き地、空き家対策の実現
- ゲリラ豪雨による水害対策の実施



現場第一で、皆様の声をさまざまな政策に実現!!

- 4カ月健診の折に「絵本」をプレゼントするブックスタート事業を実現
- 子ども医療費助成制度を入通院とも中学校卒業まで拡充!
- 産後ケア事業と「すこやか親子☆トライメール」の実施で切れ目のない支援を推進



- 生活保護適正化のために専用情報電話の設置を実現
- 寡婦(夫)控除のみなし適用の実施
- ジェネリック薬品の差額通知で、医療費の縮減



- 地域包括支援センターで高齢者への支援充実
- 認知症高齢者の見守りネットを推進
- 一人暮らし高齢者に救急医療情報セットを配布



- 図書館の財源確保のため雑誌にスポンサー制度の導入を実施
- 小中学校で外国人教師による移動英語村を実施
- スクールヘルパーの配置増で、教育・学習支援
- 中小企業振興条例、住工共生のまちづくり条例の推進
- 市独自の小規模融資を充実

